

# 小学部だより

2018/05/2 3号



## みえむへの校外学習

4月27日、三重県総合博物館みえむに行きました。連休前の金曜日ということで、盲学校以外に6校300人を超える小学生がみえむに訪れたそうです。でも盲学校のみんなは、部屋で説明を聞きながらじっくり触察する時間が多く、展示室見学時間が他校と重ならなかったため、ゆっくり学習できました。午前中は貝の学習、午後は鳥についての話を聞きながら、二枚貝や巻き貝、たぬき、カルガモ、カラス、キビタキ(すずめと同じぐらいの大きさ)のはく製を触りました。鳥は羽もくちばしも、足も本物です。

## 子どもたちの感想

- ・キビタキを触ると小さくてかわかった。わかりやすい説明でとても勉強になり、感動しました。
- ・鳥やたぬきを触りました。どちらもふわふわでした。鳥のあしはざらざらしていました。
- ・たぬきの顔はこわかったけど、しっぽは触れました。カルガモの頭や羽を触りました。
- ・はまぐりは、貝がカチンと合わさるのが気持ちよかったです。
- ・オニサザエという貝は、角がいっぱいあって、本当にオニみたいでした。
- ・一番頭に残ったのは、キビタキの羽や体に触ったことです。毛もふわふわでした。
- ・鳥やたぬきに触ったのが楽しかったです。鳥はとてもふわふわしていました。お弁当も食べました。
- ・いろんな貝を見たり触ったりしました。同じ貝を重ねるのを6つくらい作りました。午後は鳥を触りました。カラスの色は黒っぽくてふわふわしていました。
- ・いろいろな貝を触ることができてよかったです。貝の種類をたくさん知ることができました。貝合わせは、探すのが大変だったけど、7個合わせることができました。鳥は予想より小さかったです。

